

1. 科目名 (単位数)	専門演習 (2 単位)	3. 科目番号	EDOT4198
2. 授業担当教員	チームティーチング		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	3 年間履修してきたことを基礎として、選択することが望ましい。		
7. 講義概要	授業の概要は、各教員がすでに示している内容による。		
8. 学習目標	最終学年としてこれまでの授業や実習等で学んだことをもとに、各自が理論的あるいは実践的な課題を設定して担当教員の指導も受けながら自主的、主体的に取り組みその成果をまとめる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	各担当教員による。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 各担当教員の指示による。 【参考書】 各担当教員の指示による。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	各担当教員が示す。		
12. 受講生へのメッセージ	最終学年として大学生活を締めくくることを自覚して授業に取り組むこと。		
13. オフィスアワー	各担当教員が設定する。		
14. 授業展開及び授業内容			
0 1	安次嶺 降幸		
<p>「将棋の教育的意義」から紐解く【現代の子ども達の課題、研究】 ～小学校教師として、子ども達の前に立つために必要な事～教育観を育てる～ 文部科学省が「伝統文化の教育の充実」を重点事項としたことも手伝い、近年「教育の不易と流行」というキーワードをよく耳にするようになりました。教育における「流行」とは、時代の流れに沿い、科学技術や国際化に柔軟に対応していく力を付けること、「不易」とは自国の歴史や伝統を通じて、知・徳・体の調和の取れた子どもを育成していくことです。「教育の不易流行」とは、この両方のバランスをうまく考えていくことにあります。</p> <p>それと同時に、今子ども達のなかで将棋が大ブームになっています。それは何故か。 「不易と流行」と子ども達の現状を探りながら、自分が教師として、子ども達の前に立つ前に積み重ねていかなくてはならない【教育観】について考え、それを育てていく演習となります。</p> 開講曜日・時間 (基本：木曜 3 限を予定) は相談の上、決めます。			
0 2	面川 幸子		
<p>養護教諭は、職務の特色や保健室機能を十分生かし、児童生徒の様々な訴えに対して、常に心的な要因や背景を念頭に置いて、心身の観察、問題の背景分析、解決のための支援、関係者との連携など心と体の両面への対応を行うことや学校保健活動の推進に当たって中核的な役割を果たし、現代的な健康課題の解決に向けて重要な責務を担っています。健康課題の対応にあたりコーディネーターの役割もあり、チーム学校における役割は大きいです。このように、養護教諭は、学校におけるすべての教育活動を通して、児童生徒等の支援を行う専門的な教育職で有り大変重要な仕事です。</p> <p>このことから、養護教諭としての教育実践に役立つ、関心のある課題を具体的に各自で設定し、研究構想を立て、関係論文や書籍を文献研究し、考察をまとめ、発表します。また、場面等を含めた実践を取り入れる場合もあるので、発表を通して、ディスカッションを行い、養護教諭像を深めていきます。</p> <p>なお、受講者は養護教諭一種免許取得予定者であることが望ましいです。</p>			
0 3	加藤 敏明		
<p>「理科の教材研究」と「調査研究」 現在、環境問題・温暖化対策・原子力発電等が地球規模で騒がれています。このことについて、身近なところから課題を見つけ、理科の教材研究の仕方を追究していきます。また、教職に就いたときに役立つ指導法の研究を行い、理科教育の指導技術の向上を図ります。</p> <p>本ゼミは、年間を通して調査研究を行い、科学的なデータを蓄積し課題解決を行っていきます。最後に、1 年間の活動の成果を冊子にまとめます。</p>			
0 4	古俣 龍一		
<p>一般に体育の授業というと体を動かすことが中心になりますが、時には身体運動学や運動生理学あるいは発育発達学的視点などから「体育」という正体を追究していくことも重要なことです。本演習はそのような分野にも目を向けながら授業を進めていきます。したがって、本演習は上記分野の内容をより深く理解していくために通年で行います。受講を希望する人はそのつもりで御願います。開講曜日は金曜日以外を予定しています。授業内容に関して質問のある人はいつでも面談に応じます。</p>			

05	澤田 晋一
<p>テーマ：暑熱環境と健康に関する調査研究</p> <p>近年の地球温暖化の進行は夏季に猛暑日を頻発させ、職場、地域、家庭のみならず、学校やスポーツ現場等においても熱中症のリスクを増大させている。本演習では、熱中症予防のための対策技術と理論を、暑熱環境（ストレス）と暑熱負担（ストレイン）の評価、暑熱低減手法、熱中症リスク修飾要因としての生活行動・生活習慣・健康状態等の観点から、多角的に実験あるいは文献調査を通して習得する。得られた知見を踏まえて、猛暑環境においても安全に健康に生活するための今後の健康教育のあり方と課題を考察する。演習課題のキーワードとして、暑熱ストレス指標(WBGT,PHS,UTCI)、暑熱ストレイン指標の非侵襲モニタリング、暑熱耐性の個人差とハイリスクグループ、防暑冷却手法と装備、水分等の飲料摂取、東京オリンピック・パラリンピック等があるが、具体的な調査研究内容と進め方は、相談の上決める。</p>	
06	志手 和行
<p>この授業のテーマは、「英語コミュニケーション能力」である。当能力は小・中・高の10年間を通して学校教育で養成することが期待される。特に、2020年度から外国語活動が小学校中学年で実施、高学年では外国語科が教科化されており、当能力の重要性が益々高まっていくこととなる。本授業ではこの現状を踏まえ、英語によるコミュニケーションの場を実際に設け、実践しながら当能力の理論的な基礎事項を取り扱う。併せて、コミュニケーション能力養成のための教材作成にも繋がるようにしていく。英語を「学ぶ」「教える」双方の立場でこの能力を捉えられるようにし、小・中・高の英語教育現場で実際に活用できるよう目指す。</p>	
07	下出美智子
<p>音楽に関する調査・研究及び、音楽表現や演奏を行います。具体的には次の3点からの取り組みとなります。①群馬の郷土芸能、特に人形芝居座を訪問し、郷土芸能への理解を深め、継承への取り組みについて考えます。人形座と共同研究も予定しています。郷土芸能に関心のある人は声を掛けて下さい。②自分でテーマを決めて（例えば、音楽教育、クラシック音楽、アニメやミュージカル音楽、ポピュラー音楽等）調査・研究を行い発表します。③また、調査・研究と併行して、受講者全員で器楽アンサンブルや言葉・動き・音楽による表現の実技を楽しみます</p>	
08	手打 明敏
<p>1) 演習テーマ：地域と学校の連携・協働―「地域とともにある学校」について考える 2) 演習内容：今日、地域社会の教育力の低下や家庭教育の充実の必要性が指摘されるなど、学校を取りまく課題は複雑化・困難化している。学校を核とした地域づくりを通じて、地域住民のつながりを深め、地域社会の活性化を図ることが求められている。政策課題として、「開かれた学校」からコミュニティ・スクールなどを通じた「地域とともにある学校」への転換が目指されている。本演習では、「地域とともにある学校」とはどのような学校なのか、教員にはどのような役割が求められているかなどについて検討する。演習の具体的な進め方については、受講生と相談して決めていくが、演習は年間を通じて実施する予定である。</p>	
09	沼澤 清一
<p>「授業」は、児童の実態に合わせて教師の教材研究のもとに行われます。ところが、同じように教材研究を行っても、同じ授業にならないところに奥深さがあります。本演習では、「小学校での授業（主に、生活科・社会・算数・国語）」の実際をもとに教材研究の仕方、教材の捉え方、指導方法等について具体的に追究していきたいと思います。そのため、本演習は、小学校教諭を目指し全力で取り組む学生を主とします。</p> <p>希望される方は、事前にお話をしてお確認したいと思いますので、研究室まで来てください。</p>	
10	野口 英美
<p>「ことば」に関する調査研究</p> <p>「ことば」はアイデンティティでもあり、意識的・無意識的にその人自身や気持ちを表すものです。本演習では、「ことば」に焦点を当てた調査・研究を行います。どのような媒体あるいは場面でのどのような語彙や表現が使用されているか、どのようなファクターがことばの違いに影響するのかなどについて考察します。興味・関心にそってテーマを決め、研究対象を選んで調査・分析を行います。調査対象は自然会話、テレビ、ラジオ、電話、講演等の話しことば、メール、twitterやLINEのようなSNS、小説等の書きことばなどあらゆる言語活動です。教室談話や学級通信、教科書をはじめとした教材も対象に含まれます。年間を通して研究を行い、最後に研究成果を冊子にまとめます。</p>	
11	深沢和彦
<p>本演習のテーマは「学級集団づくり・学級経営」です。日本の学校教育は、学級集団を基礎単位として教育活動が展開されるため、教育成果は学級状態の良し悪しに大きく左右されます。最初に、あらゆる教育活動のベースとなる学級集団づくり・学級経営について、QUによる集団育成の理論を中心に学びます。演習では、各自が設定した学級経営に関するテーマに沿って文献研究を中心に研究を進め、発表資料としてまとめます。メンバー同士の発表を基に、相互に意見を交換し合いながら、学校現場での具体的な教育活動の展開を考えていきます。（通年で15回の授業を予定しています）</p>	
12	八重樫節子
<p>深刻化する心身の健康問題及び社会問題としても大きく捉えられている8050問題。今コロナ禍において、成長発達の途上にいる子</p>	

ども達一人ひとりにとっての不安は大きく日々の安定した生活環境を確保するため、先生方との連携をはじめとする養護教諭の役割は非常に大きいといえます。子どもの心身の健康課題を中心に各自課題を決め、それに向けてのディスカッションや演習を行い、各自の見識を深め自ら実践的に学びを深めていく授業であり、教育実践に役立てる具体的提言を導き出すことを目的としています。受講者に関しては、養護教諭免許状取得予定者であることが望ましいです。

13 柳本 雄次

特別支援教育は今日、障害のある児童生徒に対する特別な場における専門的教育から、特別な教育的ニーズに対応するインクルーシブ教育システムの構築を目指し変化しています。こうした中で特別支援教育も理論的な研究から、教育現場における実践的な研究に至るまでその目的や方法は多様化しています。本演習では各自がテーマを決め、ときには皆でディスカッションを通して研究を深めていくことを目指しています。特別支援教育に関心を持ち、自らの研究課題に主体的に取り組む学生を歓迎いたします。希望があれば特別支援学校(教育)教員対策や関係機関(学校・障害施設)見学等も予定しています。

14 山本 静雄

この専門演習では、私たちを取り巻く身近な環境で起こり得る「病原微生物の感染、花粉やダニなどによって発症するアレルギー疾患(食物や蜂の毒素に起因するアナフィラキシーを含む)、毒素を有する魚介類や動植物に起因する事故など」の実態を把握した上で、それらの予防対策と処置法を理解し、職務ならびに実生活に活用できる能力の養成を目的とする。養護教諭は勿論のこと、教諭は児童生徒の衛生・安全管理に努める責務を負っており、その職責の一端を果たすうえで有用な知識と応用能力を培うことを目指した授業の実施に努めたい。この専門演習に関心がある学生であれば誰でも受講が可能である。開講曜日・時間は相談の上で決めたい。

15 ロペス・ルイス・ミゲル

まず、テーマの種類は、次のAかBのどちらかを選択してもらおう。授業形態はセミナーである。
A) ネット上は、ネットワーク技術とデータベース技術を組み合わせて構成されたサービスが多く存在している、BBS、チャットサイト、ミニブログ(例:Twitter)、動画共有サイト(例:Youtube)、IP電話アプリ、ゲーム等はその例である。上記のようなサービスの仕組、または利用状況、または社会的影響などについて、興味あるテーマを選択し、調査してまとめる。
B) Java等のプログラム言語を使って、通常PCやAndroid等で動く簡単なアプリケーションを開発する(ただし、選択Bは事実上、十分なプログラミングの知識が必要なので、プロジェクトは相談の上決定したい)。
面接を行うので、本科目を選択したい学生はオフィスアワーを確認の上、研究室に来てください。メールでの相談はlopez@ed.tokyo-fukushi.ac.jpへ。